

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No	備考
383	B-07003242	男性	81歳	75 mg	アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・L- ーグルタミン 塩酸イブプロ	発疹 頭痛 嘔吐	回復 回復 回復	服用1日目、インフルエンザ抗原迅速検査陰性であったが、症状よりインフルエンザ疑いにて、リン酸オセルタミビル処方。午後、本剤服用。夜、嘔吐2回あり。38.4℃、頭痛も持続。服用2日目、服用中止日。午前、38.7℃の発熱、前胸部に発疹散在、頭痛、悪心・嘔吐続く。血液検査で肝障害、腎障害、白血球増加あり。髄膜炎疑い、入院。服用中止1日後、40℃を超える発熱、皮疹悪化あり。		2007/10/1以降 追加報告等
384	B-07000126	女性	82歳	75 mg	ピコスルファートナトリウム 塩酸マニジピン	幻覚	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。体温37.1℃。本剤服用し、就寝するも眠れず、近所の人の話では訳の分からないこと(入院中でいはいはずの息子が手足がとれて家にいるので医師のところに連れて行かなければ、娘がバラバラになって雪にうもれているので助けなければならない等)を話していたとのこと。 服用から2日目、受診。意味不明な事(孫が体中切れていてこわかった等)を話す。インフルエンザ脳症を疑い入院。入院後も、「私のまわりに虫がいっぱいついている。窓から外を見て実際は見えないのだが電車の人が手を振っている。自分の足元に川が流れている」などと話す。 服用から3日目、朝、大分落ち着き普通に戻った。 服用から4日目、インフルエンザ軽快	異常以外- 345	
385	B-07003017	女性	82歳	150 mg	アソセמיד イブジラスト クエン酸タンドスピロン ファモチジン 非ピリン系感冒剤(4) 葛根湯 アセトアミノフェン	妄想 幻聴	回復 回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、妄想、幻聴発現。本剤投与中止。 投与中止2日後、妄想、幻聴回復。	異常以外- 346	
386	B-04027318	女性	84歳	150mg	バルプロ酸ナトリウム	うつ病	回復	てんかんの既往あり、バルプロ酸ナトリウム長期投与中。B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後7日目、異常な発言と共に意欲の低下著名、うつ症状発現。有害事象発現後7日目、回復。	異常以外- 347	
387	B-06017777	女性	84歳	150mg	ソピクロン アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール キョウニン水 ベシル酸アムロジピン テルミサルタン 塩酸ジフェニドール スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	譫妄	回復	脳梗塞、脳腫瘍手術、不眠症の既往歴あり。インフルエンザ確定診断後、肺炎疑いで入院。翌日よりリン酸オセルタミビル投与開始。2日後夜間、つじつまの合わない会話あり、せん妄発現。4日後以降症状なし、4日後投与終了。	異常以外- 348	
388	B-02002182	女性	87歳	150mg	酸化マグネシウム マレイン酸フルボキサミン クエン酸モサブライド ブラバスタチンナトリウム ファモチジン ボラボレジンク アセトアミノフェン	幻覚	軽快	幻覚の発現状況は不明。原疾患：痴呆(高脂血症、胃潰瘍を合併)で、約3年前(1999年6月)よりアセトアミノフェン以外の併用薬剤を継続使用。	異常以外- 349	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No	備考
389	B-03013201	女性	87歳	150mg	塩酸プロプラノロール ジアゼパム ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 リシノプリル プラバスタチンナトリウム	譫妄	回復	30歳台から年1回程度心身症のため受診していたほか、高血圧、高脂血症のため治療中(開始日:不明)。インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与開始3日後に、幻視を訴えたほか、洋服を何枚もむやみに重ねて着るなどの異常行動があった。翌日、受診時には落ち着いていた。1週間後、再診時には幻覚などの症状はなくなり、再燃はなかった。	異常以外-350	
390	B-05026235	男性	88歳	75mg	グリクラジド アスピリン・ダイアルミネート メコバラミン 非ピリン系感冒剤(4) ゲファルナート ジクロフェナクナトリウム	失神	回復	インフルエンザ発症で入院し、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目の朝に失神が発現し、約2~3分で意識が回復した。同日の夜にはインフルエンザも軽快した。	異常以外-351	
391	B-07019990	女性	88歳	75 mg	ニフェジピン 酒石酸メトプロロール アルファカルシドール マレイン酸トリメプテン ゲファルナート ファモチジン クラリスロマイシン アセトアミノフェン フェンジソ酸クロベラスチン	肺障害 ラクナ梗塞	未回復 未回復	老人性痴呆あり。意識レベルは清明。意思疎通が可能な程度の難聴あり。インフルエンザ迅速診断キットにて、インフルエンザウイルス陰性。リン酸オセルタミビル等を処方。服用2日目、本日分の本剤を服用しておらず、1回分を服用させて介護スタッフが帰る。服用3日目、家人より5日分の薬が1回分しか残っていないとの連絡。本剤600mgを大量服用した疑いあり。食事は少し食べるが、トイレにも歩行できなくなり、意識障害もあり。夜、救急車で搬送。脱水、インフルエンザA型陽性、肺炎にて入院。意識レベル不明瞭。入院後、前医で処方された薬剤は投与中止。		2007/10/1以降 追加報告等
392	B-04006355	女性	89歳	150mg	塩酸ドネペジル	落ち着きのなさ	回復	老年痴呆、骨粗鬆症、背部痛、骨関節炎で塩酸ドネペジルを投与されていた。インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル150mg/日が投与され、翌日にはほぼ解熱。投与3日目の夜、家が火事になった等の幻覚が発現。不穏状態が発現し持続するため、本剤の投与を中止。翌日には次第に不穏状態が軽快し、投与中止5日後には全く以前のとおりとなった。	異常以外-352	
393	B-04026971	男性	92歳	150→ 225mg	塩酸チアラミド トロキシピド ニフェジピン アロプリノール アスピリン フロセミド ニコランジル 一硝酸イソソルビド 酒石酸メトプロロール ファモチジン レバミピド ニトログリセリン 耐性乳酸菌配合剤(1)	ミオクローヌス	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、コンプライアンス上の問題あり(2~3カプセルを服用と推測)。同日深夜、不規則な振戦様の不随意運動出現。翌日も脱水著明、顔・体幹・四肢の不随意運動改善せず。リン酸オセルタミビルの服用中止。更にその翌日も、不随意運動改善せず、全身のミオクローヌス様不随意運動と診断、入院。有害事象発現後8日目回復、退院。	異常以外-353	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

NC	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
394	B-01012005	女性	95歳	150mg	テオフィリン ランソプラゾール メクロプラミド ゾピクロン カルボシステイン センソシド セラペプターゼ レボプロキサシン	幻覚	回復	発熱(39℃)、腰痛発現。(CRP4+)のため、クラビット処方。 翌日、インフルエンザ疑いため、リン酸オセルタミビル処方。 処方5日後、幻覚(幻視:木が倒れてくる。幻聴:ハチの発ぶ音)発現。本剤投与 中止。 翌日、幻覚軽快。 投与中止3日後、幻覚完全回復	異常以外- 354	
395	B-06000632	女性	成人	不明		痙攣	不明	詳細不明	異常以外- 357	
396	B-07006907	不明	成人	不明		嗅覚錯誤	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嗅覚障害発 現。	異常以外- 356	
397	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン 病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処 方。服用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。	異常以外- 359	
398	B-07003019	女性	不明	36 mg	ヒベンズ酸チベピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザにて、リン酸オセルタミビル服用開始。朝、夜本剤服用。体温: 39℃。 投与開始2日目、朝、夜、本剤服用。寝ている時、痙攣の様にピクピクする。 投与開始3日目、熱が下がったので本剤を自己中止する。その後、痙攣は出て いない。	異常以外- 361	
399	B-01002841	男性	不明	不明	ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン	振戦	不明	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビル投与を開始。投与後1~2日後、冷 感、ふるえ、高熱のため他院に移送。転帰不明	異常以外- 358	
400	B-07002665	男性	不明	78 mg	ヒベンズ酸チベピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜半、意識が朦朧 となる。呼びかけてもはつきりせず家族が「異常行動か?」と考え、本剤服薬中止 させたところ、意識回復。	異常以外- 360	
401	B-07015653	不明	不明	不明		脳症	不明	記載なし		2007/10/1以降 新規報告